

平成28年11月7日
国立研究開発法人理化学研究所
理事長 松本 紘

国立研究開発法人理化学研究所における平成27年度動物実験実施状況等に係る
自己点検・評価について

研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第71号）（以下「基本指針」という。）及び実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（環境省告示第88号）（以下「基準」という。）を踏まえ、当研究所における規程等の整備状況及び平成27年度動物実験実施状況等について同基本指針及び基準への適合性の観点から自己点検を行った結果、下記のように評価しました。

記

1. 規程類については、いずれも基本指針及び基準に適合していることを確認し、適正であると評価した。
2. 平成27年度中に各事業所で提出された実験計画申請及び動物実験報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各事業所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙1】
3. 平成27年度中に各事業所で提出された施設の登録申請及び飼育管理報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各事業所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙2】
4. 平成27年度中に各事業所で実施された動物実験従事者等の教育講習及び登録は、各地区の動物実験監督者の報告から、いずれも適切に履行されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙3】
5. 平成27年度の各動物実験審査委員会の構成は、基本指針に適合していると判断し、適正であると評価した。【別紙4】
6. 平成26年度動物実験実施状況等に係る自己点検・評価を踏まえ、各事業所において、点検評価結果に基づいた教育内容の充実や、定期的な研究計画の見直しの周知及び変更申請の審査手続きの迅速化など、より適正な動物実験を実施するために必要と考えられる対応を行った。
7. 今後とも、各事業所における自己点検・評価の結果及びその対応状況について情報を共有し、教育訓練の充実及び動物実験に携わる者への啓発を行い、動物福祉ならびに科学的な面から3Rを踏まえた適正な動物実験を実施するために必要な措置を講じていくように努め、基本指針及び基準に定められた公表を行う。なお、前回検証以降に実施した自己点検・評価結果に関する

る動物実験の基本指針への適合性及び基準の遵守状況について、2 回目の外部検証を行い、動物実験実施の透明性確保に努めたい。

以上

参考

1. 動物実験協議会協議員一覧
2. 平成27年度動物使用数

平成27年度動物実験に係る実験計画等の審査及び実施状況

1. 審査状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日実施分)

事業所	実施日	審査の別 開催/書面	実験計画審査件数			審査結果			所長により承認された件数	備考
			新規	継続	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数		
和光事業所	H27. 4. 21	書面	1		4	4	1	0	5	
	H27. 5. 27	書面	0		9	8	1	0	9	
	H27. 6. 18	書面	2		6	8	0	0	8	
	H27. 6. 26	書面	0		1	1	0	0	1	
	H27. 7. 14	開催	0		5	5	0	0	5	自己点検・評価の実施
	H27. 8. 27	書面	0		6	6	0	0	6	
	H27. 9. 25	書面	1		6	7	0	0	7	
	H27. 10. 8	書面	0		1	1	0	0	1	
	H27. 10. 22	書面	1		4	5	0	0	5	
	H27. 11. 20	書面	1		6	6	1	0	7	
	H27. 12. 17	書面	1		6	6	1	0	7	
	H28. 1. 18	書面	0		5	5	0	0	5	
	H28. 2. 8	書面	0		1	1	0	0	1	
	H28. 3. 1	開催	1	28	4	30	3	0	33	
H28. 3. 3	書面	0		1	1	0	0	1		
合計			8	28	65	94	7	0	101	
播磨事業所 (和光動物実験審査委員会が所掌)	H27. 7. 14	開催								自己点検・評価の実施
	H27. 8. 27	書面	0		1	1	0	0	1	
	H28. 3. 1	開催	0	1	0	1	0	0	1	
	合計		0	1	1	2	0	0	2	
筑波事業所	H27. 6. 29	開催	13		0	13	0	0	13	自己点検・評価の実施
	H28. 1. 12	書面	0		1	1	0	0	1	
	H28. 3. 9	書面	0		1	1	0	0	1	
	合計		13	0	2	15	0	0	15	
横浜事業所	H27. 4. 14	書面	0		12	9	3	0	12	
	H27. 6. 2	開催	1		13	12	2	0	14	自己点検・評価の実施
	H27. 7. 8	書面	1		4	4	1	0	5	
	H27. 8. 3	書面	0		2	1	1	0	2	
	H27. 9. 7	書面	0		2	2	0	0	2	
	H27. 10. 28	書面	0		4	0	4	0	4	
	H27. 12. 2	書面	0		11	6	5	0	11	
	H28. 1. 18	書面	1		9	4	5	0	9	
	H27. 2. 24	開催	3	23	2	19	9	0	28	
	H27. 3. 25	書面	0		1	1	0	0	1	
	H27. 3. 31	書面	0		2	2	0	0	2	
	合計		6	23	62	60	30	0	90	
神戸事業所	H27. 4. 21	書面	0		2	1	1	0	2	
	H27. 4. 23	書面	4		1	0	5	0	5	
	H27. 6. 18	書面	0		5	2	3	0	5	
	H27. 6. 18	書面	3		0	0	3	0	3	
	H27. 7. 7	開催								自己点検・評価の実施
	H27. 7. 14	書面	0		6	6	0	0	6	
	H27. 8. 10	書面	0		1	1	0	0	1	
	H27. 8. 10	書面	2		2	0	4	0	4	
	H27. 9. 18	書面	0		6	2	4	0	6	
	H27. 9. 18	書面	2		1	0	3	0	3	
	H27. 10. 23	書面	0		4	3	1	0	4	
	H27. 11. 5	書面	1		0	0	1	0	1	
	H27. 11. 25	書面	0		3	3	0	0	3	
	H27. 12. 16	書面	0		3	2	1	0	3	
	H28. 1. 18	書面	0		3	1	2	0	3	
	H28. 1. 18	書面	3		4	2	5	0	7	
	H28. 2. 5	書面	0		2	1	1	0	2	
	H28. 2. 17	書面	0		5	5	0	0	5	
	H28. 3. 16	書面	4	34	3	17	24	0	41	
	合計		19	34	51	46	58	0	104	
総合計			46	86	181	217	95	0	312	

2. 実施状況

地区	所長により承認されていた実験計画数	規程に基づき提出された報告書数	適正に実施されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	99	99	99	0
播磨地区	2	2	2	0
筑波地区	13	13	13	0
横浜地区	44	44	44	0
神戸第1地区 大阪地区	93	93	92	1
総合計	251	251	250	1

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）、『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』（環境省告示第88号）、及び『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、審査・承認。苦痛度については『動物実験処置の苦痛分類』動物実験協議会確認事項（平成18年12月8日）に基づき審査・承認。

平成27年度動物実験に係る施設の審査及び飼育施設の管理状況

1. 審査状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日実施分)

研究所	実施日	審査の別 開催/書面	施設審査件数		審査結果			所長により承認された件数
			新規	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光事業所	H27. 5. 27	書面	1	1	1	1	0	2
	H27. 6. 18	書面	1	0	1	0	0	1
	H27. 7. 14	開催	1	0	1	0	0	1
	H27. 8. 27	書面	1	3	4	0	0	4
	H27. 9. 25	書面	2	1	3	0	0	3
	H27. 10. 22	書面	1	0	1	0	0	1
	H27. 12. 17	書面	1	1	2	0	0	2
	H28. 3. 1	開催	3	25	28	0	0	28
合計			11	31	41	1	0	42
播磨事業所	H27. 8. 27	書面	0	2	2	0	0	2
	H28. 3. 1	開催	0	2	2	0	0	2
	合計		0	4	4	0	0	4
筑波事業所	H27. 6. 29	開催	0	1	1	0	0	1
	合計		0	1	1	0	0	1
横浜事業所	H27. 4. 14	書面	2	0	0	2	0	2
	H27. 6. 23	書面	1	0	1	0	0	1
	H27. 7. 8	書面	0	1	1	0	0	1
	H28. 2. 24	開催	0	3	3	0	0	3
合計			3	4	5	2	0	7
神戸事業所	H27. 6. 18	書面	0	1	1	0	0	1
	H27. 6. 18	書面	1	0	1	0	0	1
	H27. 8. 10	書面	0	1	1	0	0	1
	H27. 8. 10	書面	1	0	1	0	0	1
	H27. 9. 18	書面	0	2	2	0	0	2
	H27. 9. 18	書面	1	0	0	1	0	1
	H27. 11. 5	書面	1	0	0	1	0	1
	H27. 12. 16	書面	0	2	2	0	0	2
	H28. 1. 18	書面	3	0	1	2	0	3
	H28. 3. 16	書面	1	0	0	1	0	1
合計			8	6	9	5	0	14
総合計			22	46	60	8	0	68

2. 飼育施設の管理状況

地区	所長により承認されていた飼育施設数	規程に基づき提出された報告書数	適正に管理されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光地区	25	25	25	0
播磨地区				
筑波地区	6	6	6	0
横浜地区	4	4	4	0
神戸第1地区				
大阪地区	8	8	8	0
計	43	43	43	0

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）、『実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』（環境省告示第88号）、『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）、及び『実験動物の「飼育」「保管」「実験」施設に関わる要件（ガイドライン）』動物実験協議会確認事項（平成19年11月2日）に基づき審査・承認。

平成27年度教育訓練実施状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日実施分)

地区	対象者	実施回数	参加者数	内 容	主催・担当
和光地区	新規登録予定者	24	94	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 和光安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	26	48		
	再教育	1	629		
	合計	51	771		
播磨地区	新規登録予定者	1	3	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 播磨安全管理室
	再教育	1	6		
	合計	2	9		
筑波地区	新規登録予定者	15	28	①動物実験・実験動物に係る国内法令等 ②動物実験に係る所内規程と手続き ③動物実験における倫理規範 ④自己点検・評価結果を踏まえた動物実験計画立案等及び災害時対応について ⑤マウス咬傷事故防止および咬傷事故発生時の対応について ⑥動物実験手技	動物実験監督者 実験動物開発室長 飼育管理者 健康管理室 筑波安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	6	6		
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)[ビデオ講習、英語版資料配付による講習を含む]	1	200		
	合計	22	234		
横浜地区	新規登録予定者	13	93	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 横浜安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	7	11		
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)	1	313		
	合計	21	417		
神戸第1地区 大阪地区	新規登録予定者	46	124	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項 ④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項(飼育マニュアル、実技研修) ⑤感染症コントロールについて ⑥動物実験の適正化に向けた動物実験責任者の心得	動物実験監督者 神戸安全管理室
	CDB動物飼育施設新規立入者	6	40		
	再教育訓練 (実験従事者・飼育技術者全員、実験責任者への研修含む) [ビデオ講習、英語版資料配付による講習を含む]	3	388		動物実験監督者 神戸安全管理室
	合計	55	552		
総合計		151	1983		

※『動物実験実施規程』(理化学研究所平成15年10月1日規程第129号)に基づき、実施。

平成27年度動物実験従事者／飼育技術者登録状況

(平成28年3月31日現在)

地区	登録者数	内訳	
		実験従事者	飼育技術者
和光地区	674	615	59
播磨地区	16	16	
筑波地区	197	137	60
横浜地区	317	293	24
神戸第1地区			
大阪地区	417	393	24
合計	1,621	1,454	167

※『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、登録。

平成27年度 動物実験審査委員会委員

(平成28年3月31日現在)

事業所	構成	氏名	備考
和光事業所 (播磨事業所分も所管)	和光地区の動物実験監督者	板倉 智敏	BSI 研究基盤センターセンター長
	和光事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	吉川 泰弘	千葉科学大学 副学長
		布谷 鉄夫	一般財団法人 日本生物科学研究所 顧問
	和光事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	中山 明子	産業医
		小嶋 聡一	CLST 微量シグナル制御技術開発特別ユニット 特別UL
		糸原 重美	BSI 行動遺伝学技術開発チーム TL
		黒田 公美	BSI 親和性社会行動研究チーム TL
		高橋 英機	BSI 動物資源開発支援ユニット 支援UL
	研究支援部長	船田 孝司	
安全管理室長	篠原 茂己		
筑波事業所	筑波地区の動物実験監督者	阿部 訓也	BRC 疾患ゲノム動態解析技術開発チーム TL
	筑波事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	八神 健一	筑波大学 生命科学動物資源センター 教授
		飯塚 栄	つくば市環境生活部 次長
	筑波事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	小倉 淳郎	BRC 遺伝工学基盤技術室 室長
		小林 喜美男	BRC マウス表現型解析開発チーム 開発技師
		吉木 淳	BRC 実験動物開発室 室長
		若菜 茂晴	BRC マウス表現型解析開発チーム TL
研究支援部長	石川 弥		
安全管理室長	田口 一徳		
横浜事業所	横浜地区の動物実験監督者	古関 明彦	TMS 免疫器官形成研究グループ GD
	横浜事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	伊藤 勇夫	公益財団法人 千葉県動物保護管理協会 理事
		國田 智	学校法人 自治医科大学 教授
	横浜事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	橋本 浩介	CLST 機能性ゲノム解析部門 LSA要素技術研究グループ トランスクリプトーム研究チーム 研究員
		山崎 慶子	TMS 基盤技術開発研究グループ 研究員
		岩野 はるか	TMS 免疫細胞システム研究グループ 上級研究員
		長谷川 孝徳	TMS 免疫器官形成研究グループ 上級技師
研究支援部長	岩田 伸一		
安全管理室長	吉識 肇		
神戸事業所	神戸第1地区(CDB)の動物実験監督者	古田 泰秀	CDB コーディネーター
	神戸第1地区(CLST)の動物実験監督者	尾上 浩隆	CLST イメージング機能研究グループ GD
	大阪地区の動物実験監督者	隅山 健太	QBiC 高速ゲノム変異マウス作製支援ユニット UL
	神戸事業所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	響場 篤	東京大学大学院 医学系研究科 教授
		鍵山 直子	公益財団法人実験動物中央研究所 理事
	神戸事業所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	今井 猛	CDB 感覚神経回路形成研究チーム TL
		清成 寛	CLST 生体モデル開発ユニット UL
		崔 翼龍	CLST 分子動態イメージング研究ユニット UL
		中尾 和貴	CLST 生体モデル開発ユニット 研究嘱託
		森本 充	CDB 呼吸器形成研究チーム TL
研究支援部長	佐藤 毅		
安全管理室長	片山 敦		

※『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』（文部科学省告示第71号）及び『動物実験実施規程』（理化学研究所平成15年10月1日規程第129号）に基づき、設置。

平成27年度 動物実験協議会協議員名簿

(平成28年3月31日現在)

	氏名	職名	所属
議長	有信 睦弘	理事(安全管理担当)	理研
(1) 動物実験監督者	板倉 智敏	研究基盤センター センター長	理研 脳科学総合研究センター
	阿部 訓也	副センター長	理研 バイオリソースセンター
	古関 明彦	免疫器官形成研究グループ グループ ディレクター	理研 統合生命医学研究セン ター
	古田 泰秀	コーディネーター	理研 多細胞システム形成研究 センター
	尾上 浩隆	イメージング機能研究グループ グ ループディレクター	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
	隅山 健太	高速ゲノム変異マウス作製支援ユニッ ト ユニットリーダー	理研 生命システム研究セン ター
(2) 動物実験審査委員会 委員(前号のものを除く) のうちから所長が推薦す るもの 各1名	小嶋 聡一	CLST 微量シグナル制御技術開発特別ユ ニット 特別ユニットリーダー	理研 ライフサイエンス技術基 盤研究センター
	八神 健一	生命科学動物資源センター 教授	国立大学法人筑波大学
	伊藤 勇夫	理事	公益財団法人千葉県動物保護 管理協会
	鍵山 直子	理事	公益財団法人実験動物中央研 究所
(3) 研究所内外の有識者 等のうちから、理事長が 指名又は委嘱する者 4名 以内	島田 壽子	弁護士	矢島匡法律事務所
	林 良博	館長	独立行政法人国立科学博物館
	小幡 裕一	センター長	理研 バイオリソースセンター
	中山 明子	産業医	理研
(4) 総務部長	加賀屋 悟	部長	総務部
(5) 人事部長	田代 聡	部長	人事部
(6) 安全管理室長	宮川 眞言	室長	安全管理室

【参考2】

平成27年度実験動物使用数

(集計期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日)

マウス	ラット	ウサギ	モルモット	スンクス	フェレット	ネコ	サル (マカク)	サル (マーモセット)	ハイイロ ジネズミ オポッサム	フィンチ 等の鳥類	爬虫類	ブタ	ハムスター
458,591	8,530	47	0	156	61	0	36	167	219	40	702	24	1

・数字は、実験計画を遂行する過程で安楽死処置した動物の数